

# にこ通

令和3年6月 vol.109



先日、10年ぶり2回目の救急搬送 ××  
前回と同じ尿管結石うんち痛悶絶もん〜  
健康のありがたみを感じました。  
レントゲンによるともうひとつあるんだよな〜??;

## 祖母と母をつなぐ旅

にこ通 vol.106で「戸籍はロマン」を書いたところ。「おばあちゃんに会いに行ってくる」「お墓参りに行ってきた」「心の栄養をありがとう」など沢山の嬉しい感想をいただきました。金沢に住む母と叔母からも、「読んでたらおばあちゃん(母)のことを思い出して涙が出てきた。(ほんとかね、おばあちゃんのおかげやね。章、思い出させてくれてありがとう)」とラインがきました。

そして、vol.108では、ご先祖様のおかげで物質的に豊かな今がある。現代を生きる僕たちにできることは、失われつつある人の温かさや心の豊かさを次の代に残すこと、と書きました。そのためにはまずは自分が心豊かにならないとな〜?; 先日、実家に寄った時、母がボソッとつぶやきました。「子どもの頃、おばあちゃんに連れられて行ってた富山の石動の方のお墓、おばあちゃんが小さい頃に住んでいた場所、もう一回見てみたいなあ」となれば行くしかない!! 後はどうやってその地を見つけるか...

戸籍調査や土地に詳しい行政書士さんに聞き、富山県砺波市の法務局へ。窓口の年配の男性、とても親切な方でした。奥の書庫へ何度も行き来して出てきたのがこちら。

和紙の公図です。こんなの初めて見ました。

ん〜、さっぱり分かりません??;

「これは当時の地図なんですよ。この後、土地の区画整理を行うために、換地処分がおこなわれていて...

つまり、現在の住宅地図の道路や家とは全く違ってくる??;

宝探しのようでワクワクしてきた僕は母に電話。

「近くに目印なかった? 川ヒカ山ヒカ神社とか?」

「お母さんが小学校低学年の頃やいね〜。全然覚えてないけれど... そんな遠くないところに山があったかも...」

これだけじゃちょっと難しいよな〜。65年前のことだから仕方ないが...。と思いつつも、

先日、近くまで行ったので蓮沼地区に車を走らせてみると... エリアがそんなに広くない。昔ながらの家が点在している。墓地もある。もしかの辺り...?

祖母が子供の頃、住んでいた場所に近づいてきた予感。

ここまで来たら、母の記憶の中にある原風景をもう一度見せてあげたいですね。

今日は6/29。明日、母と叔母と65年前の記憶をたどる旅に出ます。

「家系図シリーズ」次号最終回。結末やいかに??;